

「タヌキになっちゃったんじゃないくて、もともとタヌキだったの。」

タヌキの土居くん

富安 陽子（とみやす ようこ）／作

大島 妙子（おおしま たえこ）／画

福音館書店 51p F/ト



さんかく山のふもとやまの小さなしょうがっこう小学校。児童じどうはみんなで十人。四月しがつの新学期しんがつきの朝あさ、三年生さんねんせいのアカネちゃんいちばんが一番きょうしつのりをめざして教室きょうしつに入ろうとしたけど、となりの席せきの土居くんどいの方が一番ほうのりだった。でも土居君ようすの様子ようすがいつもと違ちがって……。

「そなた、顔つきかおがか変わりましたね。」

北条義時 武士の世を開いた男

小沢 章友（おざわ あきとも）／作

げみ／絵

講談社 251p SH/28/本

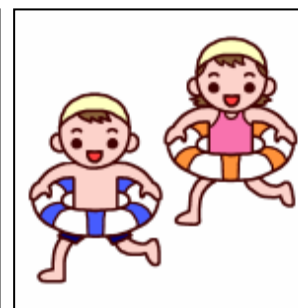
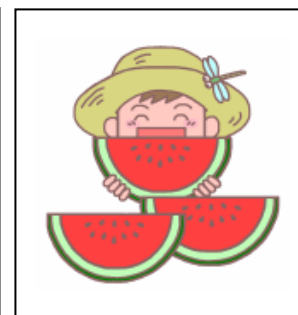


今いまから約830年前やく ねんまえ、源頼朝みなもとのよりともは「武士ぶしによる、武士のための」鎌倉幕府かまくらばくふをきずきあげた。この物語ものがたりの主人公しゅじんこう・北条義時ほうじょうよしときは、その頼朝よりともにつかえて、武士ぶしの世よの中の基礎きそを作った。京都きょうとの朝廷ちやうていと戦たたかってみごとに勝利しょうりし、約150年前やく 150 ねんの明治維新めいじいしんまで続つづいた武士ぶしの世よを開ひらいた義時よしときの一生いっしょうをえがく。

3. 4ねんせいむき

なつやす としょ
2022年夏休みすいせん図書

なつやす どくしょ
夏休みは、やっぱり読書!!



おお いそ ちょう りつ と しょ かん
大磯町立図書館

「アーロン、あんたならできるわ。あたしは信じてるからね。」

亡霊ゲーム 悪夢のゲームソフト

ジェームズ・プレラー／著

安齋 奈津子（あんざい なつこ）／訳

結城 あみの（ゆうき あみの）／絵

KADOKAWA 126p F3/7



9歳の少年アーロンは、一日じゅう遊べるほどゲームが好き。ある日、新しく買ったゲームソフト『悪夢の国』にのめりこむ。でもそのゲームには秘密があった。アーロンは、気がつくと、暗い墓地に立っていた。ゲームの中にはいってしまったんだ。はたして、アーロンはこのゲームから脱出できるのか？

「きみは知っているかな？ 妖怪は、神さまの時代からいたのだ。」

会えるかも！？妖怪ずかん

よしなが こうたく／著

ようかいガマとの／著

あかね書房 92p 38/7



妖怪がいつからいるか知ってる？ 神様の時代からいたんだ。この本では、いろいろな妖怪を紹介している。鬼、かっぱ、砂かけばあ、ろくろ首など。君たちがもし妖怪と出会ってしまったらどうすればよいか？ この一冊を読んでおけば、君たちの目の前に妖怪があらわれてもきっと大丈夫だ。

「余った食材や料理をくふうしておいしく食べよう！」

食品ロスの大研究 なぜ多い？どうすれば減らせる？

井出 留美（いで るみ）／監修

PHP 研究所 55p 61/シ



食べ物は多くの命から生まれている。私たちは食べ物のおかげで、元気に勉強や運動ができる。でも、日本でも世界でも、まだ食べられるのに捨てられる「食品ロス」がおこっているんだ。とてももったいないよね。この本では、「もったいない」ことを減らすためのヒントがいっぱい書かれている。みんなも「もったいない」を減らす工夫をしてみよう。

『『トムと3時の小人』っていう本の、上巻と下巻をかりたいんですけど』

トムと3時の小人

たかどの ほうこ／作

平澤 朋子（ひらさわ ともこ）／絵

ポプラ社 101p F/タ



つとむは、おかあさんと入った古道具屋で赤い表紙の本と出会う。そのあと、どうしても読みたくなったつとむは、町の図書館に行ったんだ。そして、司書のおばさんに調べてもらおうと、その本は書庫にあるんだって……。本との出会いではじまったちょっとかわったお話。